

KYOTO FDC NEWSLETTER



第1回京都FD執行部塾を開催しました

2010年6月19日(土)に学長、副学長、学部長等を対象とする執行部FD研修を開催しました。組織的な教育改善が大学に義務づけられる中で大学執行部に対するFD研修の必要性が議論されてきましたが、今回の研修会は全国に先駆けての取り組みとなりました。

大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学の学長18名を含む33名の大学執行部教員が出席し、文部科学省・小松親次郎審議官より、各大学が進めているFD活動における大学執行部の果たす役割について、期待を込めてお話いただきました。当日は地元テレビ局の取材が入り、夕方のテレビニュースで紹介されました。



▲ 文部科学省・小松親次郎審議官



▲ 33名の大学執行部教員が参加

日時：6月19日(土)10時40分～12時00分

場所：京都ガーデンパレス(京都市上京区)

講師：小松親次郎氏(文部科学省大臣官房審議官 高等教育局担当)

テーマ：組織的な大学教育改善と大学執行部の役割

参加者アンケートより

- 審議会答申等を絡めて基本的な視点を提示していただき、頭の中を随分整理できた。今後の学内での議論に活用できると思う。
- 文科省のスタンスを踏まえて、各大学がどのように自主的、自律的、効果的にFDを推進するかがあらためて重要な課題と認識できた。
- 的確で明快な講演により、積極的にFDに関わる指針を得た。まさに目から鱗が落ちる思いであった。「何故、何に向けてのFDか？」は具体的で今後の学内の取り組みの参考としたい。
- 機能別分化論、学位プログラム確立論、質保証論をつないでFDを大学改革論全体に結び付けて説明されたことが大変ありがたかった。
- 文部科学省が検討している事項は、ある程度HPなどを通じて情報を得ることが可能である。しかしその背景にあるアティチュードや方向性、哲学などを詳細に知る機会は少ない。今回の講演では、文部科学省の政策の継続性や今後の方向をかなり詳しく知ることができた。今後の大学の方向性を確立するよい機会となった。

第1回FDセミナーを実施しました



▲ 京都外国語大学 梶川裕司氏



▲ 滋賀大学 宮田仁氏



▲ 150名の参加者が熱心に聴講しました

2010年7月31日(土)に今年度第1回FDセミナーを開催しました。

今回は「京都FDer塾」の一環として「授業技術」をテーマに、特に多人数授業における授業改善の工夫を取り上げました。梶川先生からは、さまざまな授業技術、学生をひきつけるテクニックが紹介され、宮田先生からは携帯電話やICTを使った授業運営について紹介されました。

テーマのとおり多人数の大教室を使ったレクチャーでしたが、途中にグループディスカッションを取り入れたこともあり、会場から多くの意見や質問が出されました。

日時：2010年7月31日(土) 15:00～17:30

場所：大谷大学 1209 教室

テーマ：授業技術を考える～多人数授業の工夫～

講師：梶川 裕司氏

(京都外国語大学 マルチメディア教育研究センター・教授)

宮田 仁氏

(滋賀大学教育学部 教育実践総合センター・教授)

コーディネーター：

村上 正行氏

(京都外国語大学 マルチメディア教育研究センター・准教授)

参加者アンケートより

梶川氏『実用「教育心理学」』

- 板書の大切さを改めて認識した。1対1の質問をしない、という発想が新鮮だった。しかし、学生が「一方向」と感じないようにするためには教員の力量が問われると思われた。
- 板書で流れを作る方法と知識の枠組みを示す方法が参考になった。
- 内発的動機づけ喚起のためのレポート課題等、すぐにやってみようと思うアイデアが満載であると同時に講義の内容や仕方といった、より教育の核心にかかわる内容もあり、とても参考になりました。
- 教育心理学の観点から丁寧にご説明頂いたので大変わかりやすかったです。個人的には先生が実際に授業でされている取組について、もう少しじっくりお話を伺いたかったです。
- 心理を理解した上で授業を改善していくことの大切さを知りました。

- 一見、対照的に見える2名の先生方のお話ですが、実は根本は同じ発想(生徒に対するスタンス)というのが興味深かった。個人的には、支援ツール(講義や演習)を用いた授業に興味があるので、今回の携帯を用いた双方向の授業の発想は参考になった。(携帯を用いなくても、学生の意見を尊重して授業に主体的に参加させていく発想・方法)

宮田氏『知識創造型ユビキタスな学びプロジェクト』

- 多人数授業で学生の個人の意見を瞬時に視覚的に全体で共有することは、学生の興味を引き、それをもとに考える事ができるため、思考力を高めることに繋がると思った。
- 携帯電話は、あくまでツールであって、基本は講義の構成をしっかり考えることだ、ということを知ってホッとした。
- 学生と授業で双方向の関係をうまく作り出している上、学生の考える力、意見を述べる力の向上にも役立っている。携帯電話を活用してこれらをうまく引き出すやり方がおもしろく、興味を持ちました。
- 学生に自信をもたせ、より学びを深めるプロセスがあることが分かった。
- 学生に対する発問の技術(具体→抽象、択一式→記述式)については、なるほどと思われました。

センター事務室の移転

2010年7月27日にコンソーシアム内の事務室移転があり、本センターも5階から6階に移転しました。

おなじ戦略的大学連携支援事業のe-learningプロジェクト(代表校：京都産業大学)、国際連携プロジェクト(代表校：龍谷大学)の事務局と同じ部屋になりました。

キャンパスプラザ京都にお立ち寄り際にはぜひ当センターにも足をお運びください。





WG活動状況報告

1. FDer 養成WG

- 執行部塾実施
- FD セミナー実施
- 京都 F D e r 塾企画・実施

2. FD 研修プログラム検討WG

- まんがFDハンドブック第2巻作成（9月発行予定）
- 新任教員合同研修企画（9月と3月に実施予定）

3. FDシステム検討WG

- クリッカー授業実践（募集中）
- 連携大学全教員意識調査「大学教員の職務」（9月実施）
- ICT教育活用の調査

まんがFDハンドブック
第2巻のテーマは
「教育効果の測定」やで



京都F D e r 塾開催報告

第4回京都F D e r 塾



▲ グループディスカッション

日 時：2010年5月24日（月）18：00～20：00

会 場：池坊短期大学

テーマ：「授業公開」成功法を考えよう！～組織的な取組にするために～

25名が参加し、グループディスカッションを行いました。
「授業公開」を成功させるために各大学が、さまざまな手法
を用いて工夫を重ねて実施していることがわかりました。



▲ 佛教大学 松本真治氏



▲ 京都外国語大学 村上正行氏

参加者アンケートより

- ・ 教員の視点や職員に期待される部分が把握できてよかった。
- ・ FDの一環であるから授業公開が必要だという単純なことではなく、なぜ、授業公開をするのか？ その「意義・意味」について、考えるきっかけを貰えた。

第5回京都F D e r 塾



▲ グループワーク

日 時：2010年6月28日（月）18：00～20：00

会 場：池坊短期大学

テーマ：授業活性化へのヒント～ファシリテーションとは～

京都産業大学のF工場の協力を得て、F工場の取り組み紹介と、
ファシリテーションのワークショップを体験しました。20名
が出席し、京都産業大学の学生ファシリテータにもグループ
ワークに加わっていただきました。



▲ 京都産業大学 鬼塚哲郎氏



▲ 京都産業大学 北村広美氏

F工場とは？

京都産業大学が「学生支援GP」を活用して、授業運営でのファシリテーションの有効性等を広めるために開設した。学生による学生のためのツール開発、ファシリテーション導入による学生支援プログラムの改善、FD/SD 関連ワークショップの立案・開催・評価等を展開している。

http://www.kyoto-su.ac.jp/path/career/f/f_koubou.html



お知らせ

新任教員合同研修 <プログラム A>

日 時：2010年9月18日(土)・19日(日)

会 場：キャンパスプラザ京都 2階ホール

参加対象：連携大学・短期大学に赴任して数年以内の教員

参加申込：所属大学のFD連携事務担当者

※来年3月12日・13日に、新任教員合同研修《プログラムB》

を実施します。A、Bの両方に参加いただいた方には、『新任教員研修修了認定証』を授与します。

研修内容

9月18日(土)
13:00～18:00

1. FD、大学教員のキャリア開発・・・林 久夫氏(龍谷大学 教授)
深野政之(京都FD開発推進センター)
2. 授業デザインのための基礎知識・・・沖 裕貴氏(立命館大学 教授)

9月19日(日)
9:30～17:00

3. さまざまな授業形態(模擬授業)・・・阿部一晴氏(京都光華女子大学 准教授)
大西俊弘氏(龍谷大学 准教授)
4. 学習者中心の授業運営・・・梅本 裕氏(京都橘大学 理事長・教授)



京都FDeR塾：今後の予定

第7回京都FDeR塾 特別公開講座「イギリスのFD：レスター大学の取組み」

日 時：2010年9月25日(土) 13:00～17:00

定 員：30名(先着順)、参加費：無料、【通訳あり】

会 場：キャンパスプラザ京都 2階ホール

参加申込：本センターHP(下記アドレス) 参照

講 師：Derek Cox氏(イギリス・レスター大学, Head, Academic Practice)

加藤 かおり氏(新潟大学・大学教育開発研究センター准教授)

第8回京都FDeR塾 「チームティーチングを考える(仮)」

日 時：2010年10月25日(月) 18:00～20:00

参加対象：連携大学・短期大学・機関のFDに関わる教職員

会 場：池坊短期大学

参加申込：本センターHP(下記アドレス) 参照

第9回京都FDeR塾 「連携校のFD取組を知る(仮)」

日 時：2010年12月4日(土) 午後

参加対象：連携大学・短期大学・機関のFDに関わる教職員

会 場：未定

FDに関するご質問にお答えします

FDに関する基本的なご質問に回答するとともに、各大学等が抱える個別のご質問等を把握し、可能な限りその質問等にお答えできるようFDQAを開設しております。

このFDQAは、2007年度から「大学コンソーシアム京都」京都高等教育研究センターがweb掲示板を開設し、試行的にご質問等を受け付けてきたものを、2009年度より本センターが引き継いで運営しているものです。

講演会等の講師紹介、ワークショップ等のプログラムに関するご相談

連携大学・短期大学のFD活動を支援するため、FDに関するご相談を受け付けています。講演会、研修会、シンポジウムやワークショップを企画する際に、そのテーマに詳しい講師の紹介、プログラムの相談等に応じます。

授業コンサルテーション

連携大学・短期大学の授業に関わる個別相談に対応しています。先生方の授業の組み立てや授業運営上の悩み等に応じるとともに、先生方の要望により教室の中に入ってカウンセリングをしたり、授業ビデオの収録や受講学生への聞き取り、授業検討会等を行ったりすることによって、経験豊かな教員、専門家からアドバイスを受けることができます。

いずれも下記連絡先にお問い合わせください。



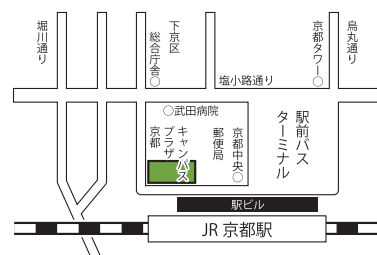
発行・連絡先：京都FD開発推進センター

〒600-8216

京都市下京区西洞院通堀小路下 キャンパスプラザ京都 6階

TEL: 075-353-9122 FAX: 075-353-9101 E-Mail: center@kyoto-fd.jp

<http://www.kyoto-fd.jp/>



※本センターが収集した個人情報は、本センターの行事運営と情報提供に目的を限定し、適切に管理します。

2010年8月発行